

活用事例①

東京都立葛飾盲学校
松島賢知

■活動した学部・学年：中学部3年

■主障害名：視覚障害

■指導教科：学活

■学習形態：集団指導

■本の名前とその内容：

小倉百人一首

・藤原定家が100人の歌人の優れた和歌を一首ずつ選んだ秀歌撰。

■対象となる子どもたちの実態

マルチメディアDAISY版小倉百人一首の音声録音に参加した中学部3年生の3名(全盲)が、録音を通じて百人一首に興味をもち、繰り返し聞くようになった。

■学習のねらい

さまざまな和歌を聞き、和歌の内容を理解してイメージを膨らませる。

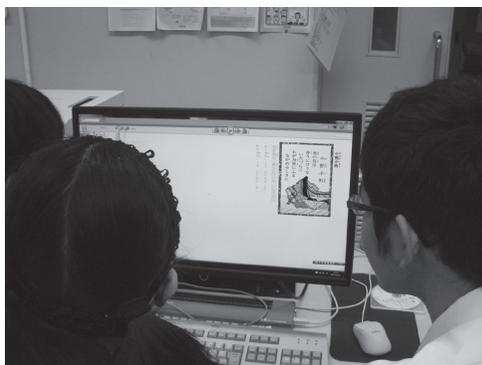
好みの和歌を2～3句選べるようになる。

■使用した機材

パソコン

■実際の様子について

【使用中の写真】



【実際の様子】

本人たちが詠み上げて録音した和歌とセットで、プロが読み上げたものが入っていたので、それを聞いた生徒たちは、もっと練習をして抑揚をしっかりと出しながら詠み上げたいと言ようになった。

なかには、百人一首の点字本を用意して日常的に読むなど、作品を鑑賞する動機づけにもなった。